

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|-----|-------------------|---------|--|--|-------------------------------------|---|
| 事業番号 | パ 細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 1 | | ねたての都市(まち)PR事業 | H24～H33 | | | | |
| 1 | ① | 道路景観整備事業 | H24～H33 | プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道を整備する。 | ・主要観光道路(市道)景観整備箇所1路線(0.65km) | ・主要観光道路(市道)景観整備箇所1路線(0.65km) | (今後の展開方針) H33年度までに11路線(15.5km)を整備する予定。 |
| 1 | ② | はごろも祭り・カチャシー大会運営費 | H24～H33 | 市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭りカチャシー大会」を支援する。 | ・はごろも祭りプログラム各イベント数(23イベント) ・カチャシー大会参加数 子供・団体の部(25チーム×20名) 個人の部(80名) | コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人以上 | (今後の展開方針) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年):430万人 目標値(H33年):900万人 |
| 1 | ③ | 海拔表示板設置事業 | H24 | 安心・安全な観光地として、海岸近くのコンベンションエリアを訪れる観光客や地域住民に津波に関する情報を提供するため、消火栓標識柱、電柱に海拔表示板を設置する。 | 海拔表示の設置 ・消火栓標識柱(146カ所)、 電柱(100カ所) | 海拔表示の設置 ・消火栓標識柱(146カ所)、電柱(100カ所) | |
| 1 | ④ | 風景づくり推進事業 | H24～H25 | 観光振興の観点から、自然と都市が調和した環境整備を図るため、景観計画を策定する。 | 景観計画(案)の作成 市民説明会、 景観委員会開催等 | 景観計画(案)の作成 市民説明会、 景観委員会開催等 | (今後の展開方針) H25年度:景観計画、景観条例の制定、 ガイドラインの作成等 |
| 1 | ⑤ | 企画展開催事業 | H24～H33 | 市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。 | 歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催:8件 | 歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催:8件 | (今後の展開方針) H33年度目標値 市立博物館入館者数: 19,000人(うち企画展見学者7,000人) |
| 1 | ⑥ | 宜野湾市産業まつり | H24～H33 | 市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。 | 宜野湾市産業まつりの開催 | 宜野湾市産業まつりの開催 | (今後の展開方針) 産業まつり動員者数 毎年度1万人以上確保 |
| 1 | ⑦ | 文化財説明板・標識設置事業 | H24～H33 | 観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。 | 文化財標識・説明板設置件数:6件 地域文化財案内板設置件数:1件 | 文化財標識・説明板設置件数:6件 地域文化財案内板設置件数:1件 | |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたのもの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|-----|--------------------|---------|---|--|--|---|
| 事業番号 | パ 細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 1 | ⑧ | 救助艇(ボート)等購入事業 | H24 | 市民や観光客の安心・安全を確保するため、年間32万人が利用するトロピカルビーチの最寄にある消防署に救助艇を設置し防災力の強化充実を図る。 | 水難事故救助艇1艇の更新整備 | 水難事故救助艇1艇の更新整備 | |
| 1 | ⑨ | プロ野球キャンプ野球場施設整備事業 | H24～H27 | 観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場の外野芝の張替え等整備を行い、施設の機能向上を図る。 | ・宜野湾市海浜公園野球場の外野芝張替 ・グラウンド整備機器購入 | ・プロ野球キャンプ見学者数 基準値(H23年度):27,100人 目標値(H24年度):50,000人 実績(H24年度):22,300人 | (今後の展開方針) H25年度:スタンドフェンス改修 H26年度:照明柱整備(1柱) H27年度:照明柱整備(2柱) |
| 1 | ⑩ | 防災行政無線整備事業 | H24 | 災害情報の伝達手段を確保し、住民や観光客の迅速な避難行動に繋げるため、観光施設が集中する西海岸地域における防災行政無線子局、戸別受信機の整備を行う。 | ・防災行政無線子局、戸別受信機整備数 防災行政無線子局 37箇所 戸別受信機 8箇所 | ・防災行政無線子局、戸別受信機整備数 防災行政無線子局 37箇所 戸別受信機 8箇所 | |
| 2 | | 地域社会とともに学ぶ育む人材育成事業 | H24～H33 | | | | |
| 2 | ① | スクールカウンセラー活用事業 | H24～H33 | 不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。 | ・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名) | ・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名) | |
| 2 | ② | スクールソーシャルワーカー活用事業 | H24～H33 | 不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを設置する。 | スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(2名) 市内4中学校(4名) | スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(2名) 市内4中学校(4名) | |
| 2 | ③ | 適応指導教室事業 | H24～H33 | 不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。 | 適応指導教室在籍児童生徒数:4名 | 適応指導教室在籍児童生徒数:4名 | |
| 2 | ④ | 児童生徒等相談事業 | H24～H33 | 教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、教育相談員、自立支援指導員を配置する。 | 青少年教育相談員(第一相談室1名) (第二相談室3名・教育相談指導員1名) 教育相談員配置(小学校へ3人) 自立支援指導員(中学校へ5人) | 青少年教育相談員(第一相談室1名) (第二相談室3名・教育相談指導員1名) 教育相談員配置(小学校へ3人) 自立支援指導員(中学校へ5人) | |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|----|-----------------|-------------|--|---------------------|--------------------------------------|---|
| 事業番号 | パ細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 2 | ⑤ | 非行防止等巡回活動事業 | H24～ H33 | 児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な指導・助言を行うため夜間街頭指導員を配置する。 | 夜間街頭指導員数 16人 | 夜間街頭指導員活動人数 16人 | |
| 2 | ⑥ | 小学校学習支援員活用事業 | H24～ H33 | 学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。 | 学習支援員の配置:8校 | 全国学力・学習状況の改善 | |
| 2 | ⑦ | 派遣費補助金交付事業 | H24～ H33 | 児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。 | 派遣費用補助団体数:4団体 | 派遣費用補助団体数:4団体 | |
| 3 | | 文化財等保護・活用推進事業 | H24～ H33 | | | | |
| 3 | ① | 文化財保存整備事業 | H24～ H33 | 宜野湾市では、市が指定する文化財の保存及び活用が課題である。平成24年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事に係る地質調査及び安全対策工事実施設計委託業務を実施する。 | 指定文化財の保存整備件数:1件 | 指定文化財の保存整備件数:1件 | |
| 3 | ② | 歴史公文書等整理・活用事業 | H24～ H33 | 歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、市民サービスに資するため検索システムの構築等を行う。 | 整理する公文書等 200冊(1人・年) | 整理する公文書等 200冊(1人・年) | |
| 4 | | 預かり保育事業 | H24～ H33 | 地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。 | 預かり保育実施幼稚園数:8園 | 預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人 | (今後の展開方針) H33年度目標値: 預かり保育利用者数年間2,000人以上 |
| 5 | | はごろも人材育成事業 | | | | | |
| 5 | ① | 中国廈門理工学院留学生派遣事業 | H24～ H33 | 中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。 | 派遣留学生数:1人 | 留学生派遣人数:1人 | (今後の展開方針) H24～H33年度 留学生派遣人数:10人(累計) |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|----|-----------------------|---------|--|--|---|--|
| 事業番号 | パ細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 5 | ② | 平和市民啓発事業(平和学習派遣事業) | H24～H33 | 全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内児童8名を派遣する。 | 平和学習派遣生徒数:8人 | 平和学習派遣生徒数:8名 | (今後の展開方針) H24～H33年度 平和学習派遣人数:80名(累計) |
| 5 | ③ | 小学校英語教育課程特例校事業 | H24～H33 | 本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、日本人の英語教師を小学校に派遣する。 | 外国語学習支援員及びJTE(日本人教師)を配置:全小学校(8校) | 中学校児童英検受験者数の増 | (今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:12,000名以上(累計) |
| 5 | ④ | 外国人教師招致事業 | H24～H33 | 本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を小学校に派遣する。 | 外国語学習支援員の配置:全中学校(4校) | 中学校児童英検受験者数の増 | (今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:12,000名以上(累計) |
| 5 | ⑤ | 学校ICT活用指導支援事業 | H24～H33 | 児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクトアなどを活用した情報教育授業を実施する。 | ・情報夏季講習会:計8回 ・情報教育研究会検証授業:計12回 ・IT活用嘱託員・補助員の配置:計2名 | 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率:(H25年度より調査実施) | |
| 6 | | 地域職業相談室(ミニハローワーク)推進事業 | H24～H33 | 失業率の高い本県において雇用促進を図るため、宜野湾市役所敷地内に「地域職業相談室」(通称:宜野湾市ふるさとハローワーク)を設置し、求人情報の提供や職業相談等就職支援を行う。 | 地域職業相談室の運営 求職者への職業相談・紹介 | 求職者職業相談件数:6,500人 | |
| 7 | | 防災安全基盤強化事業 | H24～H33 | | | | |
| 7 | ① | 宜野湾市総合防災訓練実施事業 | H24～H33 | 災害に強いまちづくりに向けて市民の防災知識の普及啓発を図るため、西海岸地域において地域住民や観光客も想定した実践的な避難訓練を実施する。 | 西海岸地域住民避難訓練実施 | 訓練参加者数:1,500人 | |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|-----|------------------------|-------------|---|--|---|---|
| 事業番号 | パ 細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 7 | ② | 災害時備蓄食糧購入事業 | H24～ H33 | 地震・津波による大規模災害発生時の避難生活等への対応のため、物資が搬送再開されるまでと想定される3日分の食料備蓄を行う。 | 地域防災計画に定めた、市の人口の20分の1の3日分を目標に備蓄食糧数。 | 備蓄食糧数人口 約94,000人×1/20×9食=42,300食 | |
| 7 | ③ | 自主防災組織育成事業 | H24～ H33 | 本県の自主防災組織率は、全国平均の74.4%に比較して6.6%と極端に低い。市内各自治会単位を基本にして組織率を上げるため、講演会の開催、啓発用備蓄用品等配布などを行い、住民の防災意識の高揚を図る。 | 講演会の開催(西海岸地域自治会) 啓発用備蓄用品等配布 8自治会 | 講演会の開催(西海岸地域3自治会) 啓発用備蓄用品等配布 8自治会 | |
| 7 | ④ | コミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業) | H24～ H33 | 地域の防災力の向上を図り住民の安心・安全を確保するため、市が認定した自主防災組織に対して、災害の被害防止活動及び軽減活動に必要な資機材整備を行う。 | 市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施 | 市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施(伊佐区自主防災会への防災用資機材購入への補助) | |
| 7 | ⑤ | 災害時要援護者支援ネットワーク事業 | H24～ H33 | 要援護者の安心・安全を確保するため、災害時に自力で避難することが困難な人に対して支援を行う「災害時要援護者避難支援対策協議会」との連携を図る。 | 災害時要援護者登録数 | 災害時要援護者登録数(50名) | (今後の展開方針) 災害時要援護者登録数 H24年度(50名)→H27年度(200名以上) |
| 8 | | 宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業 | H24～ H33 | 市の取得目標面積は253,000㎡であるが、現在までのところ、目標値の10%程度の達成率である。今年度以降の当面の目標として、49%の達成率を目標としている。 | 特定駐留軍用地先行取得基金造成 3億8,250万円積立。 | 特定駐留軍用地先行取得基金造成 3億8,250万円積立 | |
| 9 | | はごろも小学校関連事業 | H24～ H24 | 米軍普天間飛行場周辺は、スプロール状に住宅が密集しており、大山小学校の過密解消が、市教育行政における20年来の課題となっている。同校の過密解消を図り、良好な学習環境を確保するため、分離新設校の建設用地を確保する。 | はごろも小学校分離新設校の建設用地取得 | はごろも小学校用地取得面積：20,096.54㎡ | |
| 10 | | 消防自動車購入事業 | H24 | 当市は普天間基地の周辺に住宅地が密集しており、狭隘な道路が多く、ポンプ車の進入が難しい地域が多い。また、火災、事故現場に出動するためには、市の中央に位置する米軍普天間飛行場を迂回しなければならない。こうした課題を解決し、市民等の安全安心を確保するため、小型消防ポンプ車両を導入し、消防能力の強化を図る。 | 消防ポンプ車の購入：2台 | 消防ポンプ車の購入：2台 | |
| 11 | | 沖縄関係仮戸籍等電子化事業 | H24 | 市民の公証資料を適正に管理保存するため、戦禍で焼失し、沖縄戸籍法により複製された仮戸籍、臨時戸籍、福岡戸籍等を電子化する。 | 紙戸籍や関連する資料の電算化の実施 対象戸籍数：約19,600件、約67,000枚 | 沖縄関係戸籍の電算化率：100% | |

H24活動目標(指標)：平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標)：平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|---------|---------------------------|---------|--|-----------------------------------|-----------------------|------------------|
| 事業番号 | H24事業内容 | | | H24活動目標(指標) | | | |
| パ 細 | | | | | | | |
| 12 | | 大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業 | H24～H33 | | | | |
| 12 | ① | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査) | H24～H33 | 普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。 | 地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取組 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | |
| 12 | ② | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(県市共同調査) | H24～H33 | 宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。 | 土地利用及び機能導入、都市基盤整備、環境づくり等の分野別計画の実施 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | |
| 12 | ③ | 普天間飛行場跡地利用計画策定調査(自然環境調査) | H24～H33 | 基地周辺の地形や動植物の生息状況、湧水や鍾乳洞等の宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。 | 市域一体の自然環境に関する調査 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | |
| 12 | ④ | キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業 | H24～H33 | キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。 | キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)の事業化に向けた取組 | キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定 | |
| 12 | ⑤ | 埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業 | H24～H33 | 埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想[案]」を作成する。 | 重要文化財実施設計策定 | 重要文化財実施設計策定 | |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H24成果目標(指標) | 備考 (今後の展開方針等) |
|------|----|---------------------------------------|-------------|--|-------------------------|-------------------------|--|
| 事業番号 | パ細 | | | H24事業内容 | H24活動目標(指標) | | |
| 12 | ⑥ | キャンプ瑞慶覧文化財保護 マスタープラン策定調査事業 (補助) | H24～ H33 | 返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の利活用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「運営主体作り準備懇話会(仮称)」を発足し、運営主体づくりに向けて意見交換を行う場とし、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。 | 重要文化財実施設計策定 | 重要文化財実施設計策定 | |
| 13 | | 宜野湾市墓地基本計画 | H24 | 沖縄には独自の埋葬文化があり、個人墓地が住宅地と混在し造られている。墓地による市街地環境の悪化を防ぐため、墓地の集約化を検討し、地域の住環境を保全する必要がある。市民の需要を考慮し、安心して求めることができる多様な墓地の供給方策を示すため、墓地基本計画を策定する。 | 宜野湾市墓地基本計画の策定 | 宜野湾市墓地基本計画の策定 | |
| 14 | | 市民会館施設整備事業 | H24～ H30 | 宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。 | トイレ改修工事 (バリアフリー化) | トイレ改修工事 (バリアフリー化) | (今後の展開方針) H25年度:屋外防水外壁改修工事等 H26年度:舞台機構改修工事等 H27年度:エレベーター掛替工事 H28～30年度:空調設備改修、ホール絨毯、客席取替工事等 |
| 15 | | 中央公民館整備事業 | H24～ H26 | 宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、建設後30年経過し老朽化が進んでいる。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の研修室等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。 | 生涯学習活動拠点研修施設整備 | 生涯学習活動拠点研修施設整備 | (今後の展開方針) H25年度:舞台照明設備等改修設計 H26年度:舞台設備等改修工事 |
| 16 | | 市民図書館施設整備事業 | H24～ H28 | 宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。 | ・施設の整備箇所 1カ所 (授乳室設置) | ・施設の整備箇所 1カ所 (授乳室設置) | (今後の展開方針) H25年度:空調機、外壁漏水改修工事等 H26年度:外階段滑り止め修繕、備品整備等 |

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。